

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表日:令和 5年1月 日

集計期間:令和4年12月1日～ 12月26日

事業所名:友愛こどもクラブ とことこ

回答数: 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 整備体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				利用人数が多くなった時や児童の相性によって外での活動を実施
	②	職員の配置数は適切であるか		2	4		配置基準は満たしているが、サービス提供の質を維持するために増配置が必要
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6				入口にスロープ、誰でもトイレの設置など設備面での配慮
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2			昼礼やスタッフ会議を利用して情報を共有するとともに、職員が児童の目標、支援の実施と評価に参加している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1			保護者からの意向・要望があれば職員間で共有、検討して反映している
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	4	2			法人ホームページで公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1			平成28年度、令和2年度に受審
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2			法人内、施設内研修への参加と資料等配布支援の質が向上するよう全職員が外部研修に年1回参加できると良い
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				個人面談やサービス計画の保護者等の希望に沿った支援計画を立てるように努めている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2			標準化されたツールは具体的に用いていない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				児童の様子や相性などを職員で確認してグループでの活動を目標にプログラムを立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6				グループ活動、創作活動、季節の行事や屋外活動、ソーシャルスキルトレーニングなど児童に応じて取り入れている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1			時間のある休日や長期休暇でこぞできる支援を保護者と共有し、個別に実施 平日は児童の疲労度や曜日(授業)等に配慮し支援を実施
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後デイサービス計画を作成しているか	6				児童が固定されていないので児童の状況に合わせ、個別・集団活動を行っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				昼礼を開催して1日の予定を確認
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				その日の振り返りが送迎や清掃、記録で難しいので、翌日に職員で情報共有を図るようにしている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				支援の実施と記録が一体となってこそ支援の質の向上になると職員間で共有して改善に努めるよう努力をしている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1			達成した目標は次のステップへと高め、後退した評価については職員間で目標設定について意見を出し合い、保護者面談等で伝えながら判断している
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1			自立支援・創作活動・地域資源の利用・余暇を意識した活動を意識して取り組んでいる コロナの影響で難しかった地域資源(図書館での読み聞かせや博物館の利用等)を利用する機会が少しずつ戻ってきた
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2			主任もしくは児童発達管理責任者が参加
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1			学校送迎時に、児童の様子について確認し、場合によっては活動内容を変更 月間予定表に学校行事は記入して確認
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	1	4	1		医療的ケアが必要な申し込みがない (現在はてんかんの対応程度)
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	1		新規利用で新1年生や低学年の利用希望がない 必要の際は保護者から聞き取り

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表日:令和 5年1月 日

集計期間:令和4年12月1日～ 12月26日

事業所名:友愛こどもクラブ とことこ

回答数: 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1		保護者に卒業後の進路先は聞いているが、移行した事業所への情報提供はしていない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	1		市内に発達支援センターがない
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4		コロナの影響で機会を作ることが難しい
	㉗	(地域自立支援)協議会等への積極的に参加しているか		4	2		コロナの影響で参加する機会がなかったが、開催されれば可能な限り参加したい
保護者への 説明責任等	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				電話連絡や連絡帳などで児童の様子など細かく伝えるようしている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	2		療育に興味、意欲のある保護者には、相談などを受けて、支援の中でトレーニングを取り入れ、成果の報告等して協働している
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2			新規契約時に時間を取り説明 利用者負担や支払い期間、請求方法を周知するための改善策は必要と感じる
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				スケジュールの提示やトイレトレーニングで成果があった支援について伝えている
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	2		コロナの影響で保護者会の開催が難しいが、状況を見ながら工夫して開催できればと感じる 保護者会(懇談会)は子育ての悩み、進路対策などの情報交換の場として必要
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				苦情は特になかった
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	1		法人広報誌の発行とホームページへの掲載
	㉟	個人情報に十分注意しているか	6				個人情報提供にかかる同意書 個人ケース等は鍵のかかる書棚で保管
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				はじまりとおわりを明確にし、スケジュール確認を視覚的提示 児童に対し視覚的な支援を基本としている
非常時等の 対応	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	1	1	学園祭(代替行事)開催のお知らせを配布
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		1	コロナウイルスについて、マニュアルに沿い、状況を見ながらお知らせを配布
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1			避難訓練(震災、火災、土砂)を組み入れて実施
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				虐待チェックリストを年2回実施 施設内での研修の実施と資料配布
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2			拘束規定はあり、必要が生じれば組織として決定するようになっているが、現在、通所している児童には必要性がないので、あえて保護者には説明していない
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2			利用開始時に保護者に確認、現在、アレルギーの児童はいない
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				誰にでも起こり得ることとして事例を共有し、再発予防の話し合いを実施

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。